# 令和3年度地域経済構造分析推進業務 地域別事業報告(仙台地域)

株式会社帝国データバンク

### 0.事業概要

#### 【目的】

宮城県全体および、地域ごとの観光産業における特色や課題等について情報を収集することを目的とし、「個人アンケート調査」「企業アンケート調査」「企業訪問ヒアリング」を実施。また、経済波及効果を推計し、宮城県において観光業が持続可能な地域経済の発展にどの程度寄与しているのか把握・分析を行う

#### 【実施内容】

◆個人アンケート調査

調査対象:提携する調査会社が保有するモニターに登録している、宮城県内に居住する

15~79歳の男女42,084名

実施方法:WEBアンケート調査

回収数 : 2500件

#### ◆企業アンケート調査

調査対象:宮城県内にある、TSA観光8分類に属する企業群2,277社(弊社保有データベースより抽出)

実施方法:郵送調査

回収数 : 608社/2,277社(回収率: 26.7%)

#### ◆企業訪問ヒアリング

調査対象:宮城県内にある、TSA観光8分類に属する企業群より売上高上位企業群から28社

実施方法: 弊社調査員による訪問調査

#### ◆経済波及効果の推定

公的統計、個人アンケート調査、企業アンケート調査より数値を収集し、観光経済波及効果簡易推計システム※」にて経済波及効果を推 定

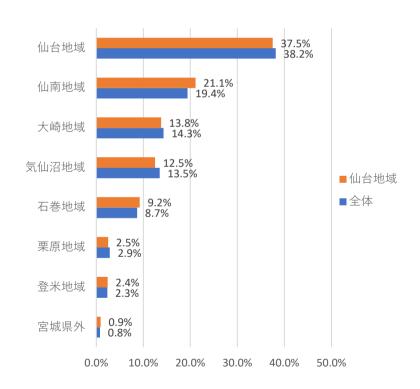
※出典:観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリー作りに関する調査、公益財団法人日本交通公社、2015年3月 2

## 1.個人アンケート調査

### 仙台地域からの県内旅行の目的地

仙台地域

• 仙台地域からの県内旅行の目的地に関して、宮城県全体と比較したが、回答数のうち半数以上(51.8%)が仙台地域の回答であるため、全体とほぼ変わらない傾向となった。

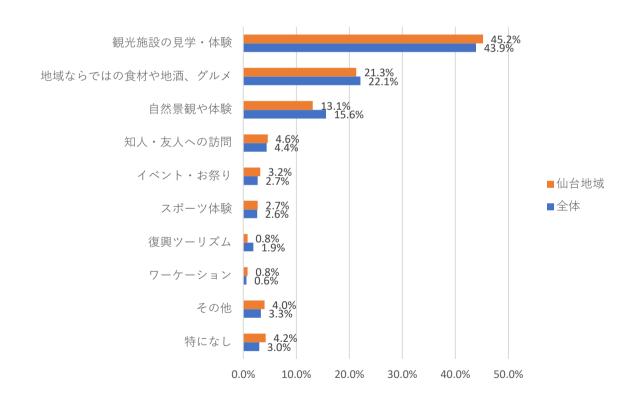


## 1.個人アンケート調査

### 仙台地域への旅行目的

仙台地域

• 仙台地域への旅行目的に関して、宮城県全体と比較すると、「観光施設の見学・体験」 が若干全体より割合が高く、「地域ならではの食材や地酒・グルメ」「自然景観や体験」が若干低かった。

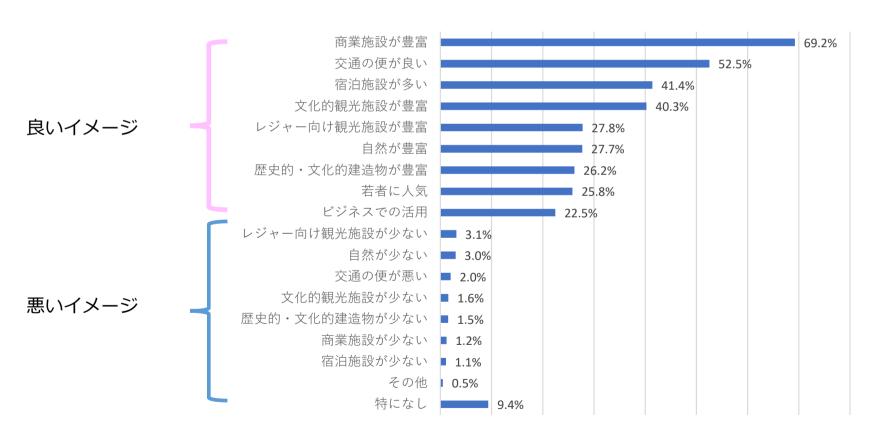


## 1.個人アンケート調査

### 仙台地域のイメージ

仙台地域

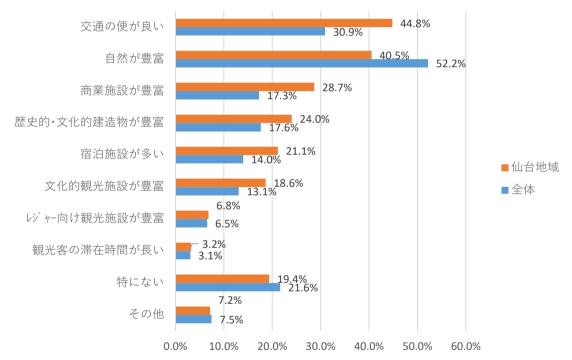
- 良いイメージとしては、「商業施設が豊富」が69.2%と最も多く、次いで「交通の便が 良い」が52.5%となった。
- 悪いイメージは、回答自体が少なかった。



### 仙台地域の強み

仙台地域

 地域における強みについて、宮城県全体と比較すると、「交通の便が良い」が44.8%と 全体よりも13.9ポイント高く、「自然が豊富」以外はどれも全体より割合が高い結果と なった。



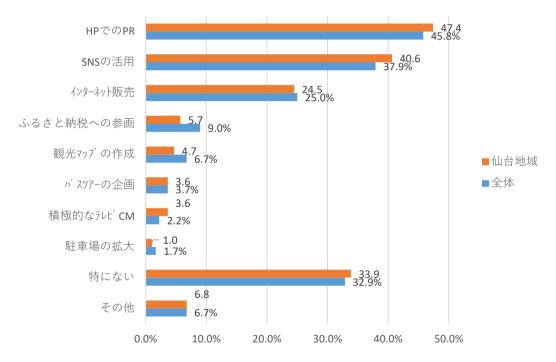
#### <企業の声>

- 商業施設、宿泊施設が多く、仙台が宮城県・東北地方における拠点となる。(スポーツ・娯楽サービス)
- 仙台から近距離にあり仙台市の観光施設をそのまま「地域内」の施設として活用できること が強みである。(宿泊サービス)

### 観光客増加のために現在やっていること

仙台地域

• 観光客増加のために現在やっていることについて、宮城県全体と比較すると、「HPでの PR」PR「SNSの活用」が全体より若干高く、「ふるさと納税への参画」「観光マップの 作成」が低かった。



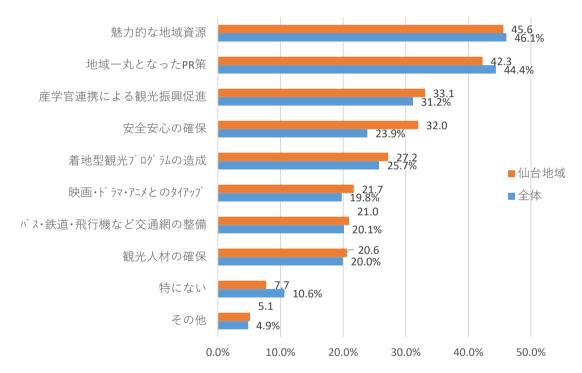
#### 〈企業の声〉

地元旅行会社と連動したショートトリップを温泉街で行う予定。新しい技術であるVRやERといったもの(360°パノラマビュー)を提供させていただく予定。(宿泊サービス)

### 観光客増加を進めるために必要と思う点

仙台地域

観光客増加を進めるために必要と思う点について、宮城県全体と比較すると、「安全安心の確保」が10ポイント近く高かった。



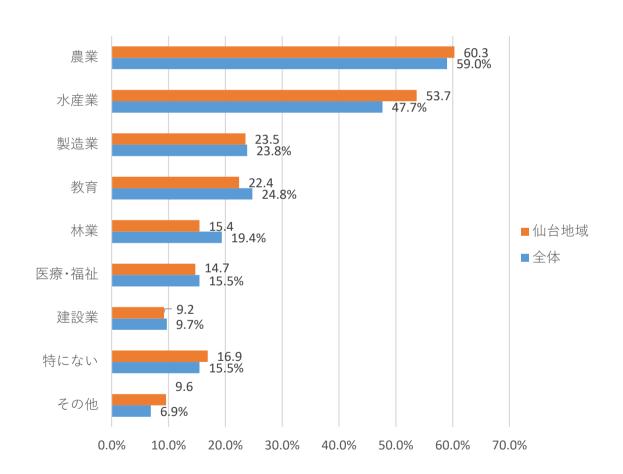
#### <企業の声>

- 交通の便の悪さを解消しなくてはなりません。プロモーションだけでなく、列車・バス・タクシーといった既存の交通モードの組み合わせの充実が必要であり、MaaS(例:東北MaaS、仙台MaaS)による包括的な予約・決済システムの整備が求められます。(旅客輸送サービス)
- ・ 地域としてのPR力を高めていくことが必要。(飲食サービス)

### 他産業との連携について

仙台地域

• 他産業との連携について、宮城県全体と比較すると、「水産業」が全体よりも若干高く、 「林業」が若干低かった。



## 3.経済波及効果の推定結果

### 経済波及効果の推定結果

項目	宮城県	仙南	仙台	大崎
経済波及効果 (A+B+D+C)	1,780.01億円	115.02億円	1,454.37億円	170.57億円
A観光消費額	1,012.41億円	83.05億円	733.83億円	107.80億円
B生産誘発効 果	624.43億円	25.26億円	638.27億円	53.02億円
C家計迂回効 果(消費による もの)	90.46億円	5.11億円	44.58億円	6.47億円
D家計迂回効 果(生産誘発 効果によるも	52.72億円	1.60億円	37.69億円	3.28億円
項目	栗原	登米	石巻	気仙沼
経済波及効果 (A+B+D+C)	25.27億円	58.42億円	110.99億円	75.71億 円
A観光消費額	20.02億円	37.74億円	57.78億円	46.28億円
B生産誘発効 果	4.50億円	17.18億円	41.73億円	22.86億円
C家計迂回効 果(消費による もの)	0.61億円	2.17億円	6.50億円	4.38億円
D家計迂回効果(生産誘発 効果によるも の)	0.15億円	1.32億円	4.98億円	2.18億円
付加価値効果	5.82億円	14.36億円	33.01億円	22.94億円
雇用効果	112人	350人	745人	579人



